

Brown Bag Seminar

No. 053

オンライン
録画期間限定公開
(Zoom)
登録はこちら



2022 6.15 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

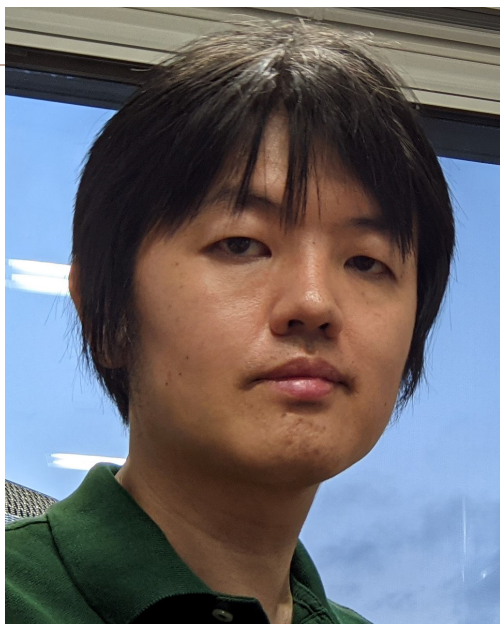
◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_kqL79KogSMqaHq1j4Y6mag

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

データ駆動型教育に向けた ラーニングアナリティクスの挑戦

司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)



島田 敬士 教授

システム情報科学研究院情報知能工学部門



コロナ禍が契機となり教育分野に ICT（情報通信技術）の導入や環境整備が進みました。ICT を活用した教育・学習は、デジタルな環境を利用して学びを实践できるだけではなく、システムなどに蓄積された様々な教育・学習活動の記録である教育データを分析することで、どのような学習を行っているのか、どのようなサポートが必要か、サポートは本当に有効だったかなど、データに基づいて教育・学習の支援やその効果検証などをデータ駆動で行えるようになります。本セミナーでは、データ駆動型教育の実現に向けて教育データの利活用研究を行うラーニングアナリティクスの挑戦について紹介いたします。

2007年3月に九州大学大学院システム情報科学府博士後期課程を修了し、博士(工学)の学位を取得しました。2007年4月に九州大学大学院システム情報科学研究院助教、2013年10月同大基幹教育院准教授、2017年4月同大大学院システム情報科学研究院准教授を経て、2019年10月から同研究院教授に就任して現在に至ります。その間、2015年10月から2019年3月までは JST さきがけ研究者を兼任して教育ビッグデータの処理基盤構築に関する研究を行いました。これまでに、画像処理、パターン認識、サイバーフィジカルシステムなどの研究を行ってきました。また、最近は教育ビッグデータを活用したラーニングアナリティクスに関する研究を進めています。関連する成果に対して、IPSJ/IEEE-Computer Society Young Computer Researcher Award (2019年)、文部科学大臣表彰若手科学者賞(2020年)などを受賞しました。

Key Words

教育の情報化
データ駆動型教育
ラーニングアナリティクス